

校長の自慢 『さわやか清掃』

「花と緑の西淀川高校」

これが本校のキャッチフレーズです。

「西淀川高校は、花がいっぱいで掃除が行き届いていますね」と来校者からお褒めの言葉をよくいただきます。今は、サツキとプランターの花が生徒や先生方、そして来校者を出迎えてくれています。このきれいな「花と緑」を支えているは、エコ部（エコ・コミュニケーション部）のメンバーなのです。



早朝からエコ部のメンバーが登校してきます。エコ部の朝の集合時間は 7 時 45 分です。でも、その前にほとんどのメンバーは畠中技師のいる技師室に集まります。

エコ部は、3 年生は 4 人、2 年生は 1 人、そして 1 年生は 14 人の 19 人で活動しています。活動内容は、本校の特色授業「環境」から派生した校内の畑作り（菜の花・サツマイモ・ジャガイモなど）、緑化活動（チューリップ・プランターなど）、校舎内の清掃活動など多岐に渡ります。朝の清掃・水遣り活動は 3 年前から始まりました。最初は、畠中技師を含めても、たった 3 名からでした。それが今は毎朝のエコ部の自主的な活動につながっています。



「こっちも掃いて」と菊池部長の声が響きます。今日は楠などの落ち葉集めを中心に、プランターへの水遣りや校舎内の掃除機を使った清掃をおこないました。メンバーの中には、ほうきの持ち方も知らない生徒もいました。また、中学校時代は、学校になかなか足が向かなかった生徒もいます。そんな彼らも今、生き生きと清掃活動しています。集めた落ち葉を入れたビニール袋をリヤカーで運び、朝の仕事は終了。放課後は畑作りです。

「朝からありがとう」先生たちの声に、さわやかに「おはようございます」と応える言葉の中にも、段々と彼らの自信が感じられようになってきました。いつもありがとう！さわやかな挨拶ときれいな学校を。

